

船舶事故調査報告書

平成24年6月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	転覆
発生日時	不明（平成22年12月30日 青森県八戸市種差漁港定係地の出港時刻～11時50分ごろの間）
発生場所	不明（種差漁港定係地～同漁港港界付近の間）
事故調査の経過	平成23年1月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が行方不明のため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第三福栄丸、2.60トン AM3-21274（漁船登録番号）、個人所有 7.50m（Lr）×2.14m×0.74m、FRP ディーゼル機関、漁船法馬力数50、昭和53年2月
乗組員等に関する情報	船長 男性 75歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 昭和51年6月4日 免許証交付日 平成20年8月15日 （平成26年6月11日まで有効）
死傷者等	行方不明 1人（船長）
損傷	全損
事故の経過	本船は、平成22年12月30日11時50分ごろ、種差漁港北防波堤と同漁港西防波堤との間の防波堤入口付近において、転覆しているところを通行人が発見した。 本船の発見者は、漁業協同組合に連絡を行い、同組合の組合員が海上保安庁に通報し、巡視船及び航空機などによる捜索が行われた。 本事故当日は、出漁したのは本船のみであり、船長が遭難した疑いが生じた。その後、本船は、12時35分ごろ種差漁港の北側の岩場に漂着し、無人であり本船と確認された。 船長は、行方不明となったことから捜索が行われたが、発見されなかった。
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西南西～北西、風力 3、視界 良好 海象：うねりの波向 北東、うねりの波高 約3～4m、海水温度 約11℃ 本事故当時は、八戸市に波浪警報が発表されていた。
その他の事項	本船は、岩場において、波浪により何度も岩場に当たって大破し、全損処理となった。 船長は、ふだんから1人で種差漁港の港界付近において、刺し網漁の操

	<p>業を行っていた。</p> <p>船長は、刺し網漁を約12年間行っていた。</p> <p>船長は、操業中、常に救命胴衣を着用していた。</p> <p>本事故当時、転覆した本船の付近に救命胴衣が流れているのが目撃された。</p> <p>船長は、狭心症の持病があり、月に1回通院し、投薬治療を受けていた。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>不明</p> <p>不明</p> <p>あり</p> <p>本船は、種差漁港の定係地を出港後、11時50分ごろ種差漁港入口付近で転覆しているところを発見されたことから、この間において、本船が転覆したものと考えられるが、その状況を明らかにすることはできなかった。</p> <p>船長は、行方不明となった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、種差漁港の定係地を出港後、転覆したことにより発生したものと考えられる。</p>	
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うねりが高い時には、出漁しないこと。 	